

平成 16 年 4 月 27 日

各 位

会社名 富士通コンポーネント株式会社
代表者名 代表取締役社長 小野 統造
(コード 6719 東証第 2 部)

世界に先駆け 10 ギガイーサネット仕様に準拠する
電気トランシーバモジュールの開発完了のお知らせ

- microGiGaCN x-mGC シリーズ -

富士通コンポーネント株式会社(社長 小野統造)は世界に先駆け 10 ギガイーサネット (10GBASE-CX4) に準拠する電気トランシーバモジュールの開発を完了し、サンプルの出荷を開始します。

InfiniBand、10G FC、10GE-CX4 等の規格に標準インターフェースとして採用されている 当社高速伝送用コネクタ マイクロギガコネクタ (microGiGaCN) の展開として、10G ホストインターフェースである XAUI から CX4 ヘリタイマーチップにより電気変換を行い銅線にて伝送するモジュールを開発いたしました。

データコム・通信ネットワーク市場においてイーサネット通信モジュールは通常 XAUI から光変換しファイバーにて伝送する XENPAK 等の光モジュールが一般的で 300m ~ 40Km までの長距離伝送通信が可能です。しかしデータセンター内などでのイーサネット通信を行う装置間は 25m 以内に設置される場合が多くあり、光モジュールでは便宜性に欠けておりました。今般開発の電気モジュールはデータセンター内等、伝送距離 25m までの近距離をターゲットに光モジュールに比べ安価な電氣的な通信リンクソリューションを提供するものです。

CX-4 の規格は本年 2 月に制定されたばかりであり、電気トランシーバモジュールは、XENPAK、MSA 等でも標準規格化されておりません。世界初の試みとして製品化したものです。

本製品形状は XENPAK MSA に準拠しており、XENPAK MSA 光モジュールとホスト側スロット挿入互換を保っています。系列展開として X2 タイプの電気モジュールの製品化も予定しております。また本製品はケーブルコネクタの検知、電源供給回路を有しており、ケーブルコネクタ側においてアクティブイコライゼーション、光変換等の対応が可能です。当社光変換モジュール(o-mGC)への接続により 300m までの光通信も可能となります。

当社は今後、より高度化する情報社会のインフラを支える製品として、microGiGaCN シリーズを中核に更なる高速伝送化、ネットワーク化を実現するコネクタデバイスの開発を推進してまいります。

【製品の特長】 (製品シリーズ名 x-mGC)

- (1) 10G BASE-CX4 準拠の電気モジュール、形状は XENPAK MSA 準拠
リファレンスクロック・MDIO コントロール内蔵、LASI サポート
- (2) インターフェース XAUI から CX4 へ変換 XAUI(ホスト側)70 芯カードエッジ対応、CX4 側は
InfiniBand、10G FC、10GE-CX4 等の規格に標準インターフェースとして採用されている当社高速
伝送用コネクタ microGiGaCN
- (3) シグナルレート 3.125Gbps 、4 チャンネル双方向通信
- (4) 伝送距離 25 m (AWG#24, InfiniBand ケーブル)
- (5) 活性挿抜対応
- (6) 電源供給 3.3V/1.5V、消費電力 3W 以下
- (7) ビットエラーレート 10^{-12} 以下

【発売時期】 サンプル5月、量産2004年7月予定

【サンプル価格】 100,000 円

【販売目標】 200K 個/年(2006)

以 上

【この件に関する問合せ先】

富士通コンポーネント株式会社

営業本部マーケティング部

滝沢 茂幸

Tel 03-5449-7011 Fax. 03-5449-2626